

令和6年（2024年）6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（２日目）

令和6年6月14日(金)

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

[illegible]

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 地域行政について	(2) なはのまちぐわーでは、店舗の更新が続く一方、水道等のインフラの更新についての対応も求められている。にぎわいへの影響を小さくしながら市道とそれに繋がる通りのインフラを整えるには、各事業者と連携し、計画的に更新する必要がある。現状と対応を問う コロナ禍で活動が制限され、昨年度から少しずつ活動が戻ってきたところであるが、地域の「子ども会」の活動が厳しい状況に置かれている事例が散見される。子ども会の減少は、子どもの社会とのつながりの減少にとどまらず、本市の伝統芸能等の文化の継承にも大きな影響を与える。以下を問う (1) 本市の子ども会の推移と現在の子ども会の運営に関する支援について問う (2) 子ども会の活動の主体は子どもであり、あくまでも地域の自主的な取組であるが、学校との関わりも深い。学校としても児童が子ども会と出会う機会を創出するなど支援を検討できないか問う
		4 NAHAマラソンについて	NAHAマラソンの参加者が減少し、大会の立て直しが求められている。そして昨年からNAHAマラソン協会で議論中となっている陸連公認マラソンから市民マラソンに戻すべきかどうか、といった課題も残されている。NAHAマラソン協会での議論の進捗と、那覇市内部での検討状況、見えてきた課題について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和６年６月１４日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	花 城 典 史 (自民党・みんなの協働!)	1 学校教育行政について	(1) 学校施設の管理運営(長期休暇中の学校施設開放)について 夏休み等の長期休暇中、例えばこどもの居場所や学童クラブ（いわゆるサマー学童）、学習塾、自習室等の活動場所として学校施設を開放してほしいという市民の声がある。本市の見解を伺う (2) 教員業務支援員や特別支援教育補助員、部活動指導員の支援員について 本年度の各種支援員の配置状況を伺う (3) 教育ＤＸについて 毎年、年度初めになると、児童生徒の進学進級に伴って、学校から保護者宛てに各種調査票等の提出が求められている。これらはほぼ全て手書きで毎年記入し提出することとなっているが、教員の働き方改革の点からみてもＤＸ化して効率化が図られるべき分野ではないかと考える。また、例えば特別支援学級に通う児童生徒のご家庭では、学校宛てと各施設宛てに何度も同じ事を聞かれその度手書き記入することが大きな負担であるのでＤＸ化すべきとの声が保護者の皆様からあがっている。そのような市民向けのサービス向上という観点からもＤＸ化は大変意義がある。是非、行政と学校、児童生徒及び保護者で相互にデータ連携してほしい。見解を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 防災行政について	(1) 総務部防災危機管理課と教育委員会との連携について 先日の我が会派代表質問に対して、学校の危機管理マニュアルの見直しが課題であるとの答弁があったが、当該マニュアルあるいはその他のマニュアル等で、学校敷地内への備蓄倉庫の設置についてはどのように定められているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 まちづくり 行政について	(2) 行政情報の提供スポットとしての地域資源（コンビニ等）との連携について コンビニ等は発災時の物資供給等の役割が求められている反面、実際に警報発令された場合の従業員の避難も重要である。先日の津波警報発令時に、コンビニ従業員の方が避難誘導情報に触れられなかった事例があるとの情報もある。本市の現状と見解を伺う (1) 宇栄原市営団地建替え事業について 地域居住機能再生推進事業について、小緑地域振興会や宇栄原自治会・宇栄原団地自治会等の地域の皆様から示されている、エリア全体のまちづくりの観点でのご意見を踏まえて、本市の見解を伺う (2) 地域コミュニティに開かれた広報の在り方について 地域コミュニティ向けの広報の方法としては、例えば各自治会の掲示板があると思うが、その設置の費用（財源）や設置の効果について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和６年６月１４日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 山 たかお (自 由 民 主)	1 那覇市記念事業について	那覇市の成人式は、平成 15 年 1 月より市主催の一括開催を廃止し、各中校区実行委員会形式による地域主体の手作りによる式典が開催されている。地域の方々が主体となり式典に向けた企画運営をすることで、市民協働の実践の場が創出され、新成人の社会人としての自覚や責任、地域への愛着が生まれるなど、地域協働への意識啓発につながり、若者の人材育成に期待できる取組となっている しかしながら、今回の成人式に参加者から、実行委員会方式についての見直しについての意見が多数あった 那覇市の見解を伺う
		2 環境整備について	令和 6 年 4 月 1 日に総務省自治税務局長から「地方たばこ税の安定的な確保と望まない受動喫煙対策の推進のための分煙施設の整備促進について」が発簡された。それを受けて那覇市としての方針について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和６年６月１４日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 ジェンダー 政策について	(1) ２月定例会において、男性は「ハイサイ」、 女性は「ハイタイ」の使用を求める、市役所 の会議や朝礼の在り方を、トランスジェンダ ー等の職員に、配慮した方法に改善すべきと 求めた。その後の本市の対応を問う (2) 同性カップルの事実婚表記について 長崎県大村市が、男性の同性カップルに対 し、続柄欄に事実婚関係を示す「夫（未届）」 と記載した住民票を交付した。住民票男女間 の事実婚と同様の表記が認められたことは、 性的少数者の権利擁護につながる 現状を問う
		2 福祉行政に ついて	那覇市加齢性難聴者補聴器購入費助成につい て、概要を問う
		3 防災行政に ついて	４月３日におきた津波警報が発令された際の 対応と課題を問う
		4 第一牧志公 設市場につい て	(1) 避難場所としての活用について問う (2) 昨年６月定例会と今年２月定例会におい て、防災の観点からも第一牧志公設市場内の 各店舗でポータブルラジオが活用できるこ とを求めてきた。ポータブルラジオは緊急災 害時において有効な情報源である ４月３日の津波警報が出た際には、ラジ オが使えないため情報収集が不安だったと の声が届いている。早急の改善がどうしても 必要である。見解を問う (3) 公設市場でのWi-Fi環境の現状を問う

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 教育行政について	小中学校のクーラーの修繕について 2月定例会において、普通教室で28か所がまだ稼働できておらず、今年の稼働時期までに修繕の対応をすべきと訴えた。「完了する予定」との答弁だった。稼働する前までに修理は完了できたのかを問う
		6 公園行政について	2月定例会において、旭ヶ丘公園にある海鳴りの像の周りの整備について、高齢者も安心して訪れることのできる公園になるよう修繕・整備が必要であり、6月23日の慰霊の日は式典も行われるので、その前に行ってほしいと訴えた。その後の対応を問う
		7 こども誰でも通園制度について	「親の就労にかかわらずすべてのこどもの育ちを応援する」—こんな看板を掲げて、政府は「こども誰でも通園制度」を創設しようとしている。5日、国会で子ども・子育て支援法の改正案が成立し、2026年度から全国で実施される しかし、市町村が事業所を認可するが、認可基準は緩く、必要な保育従事者のうち保育士は半分でよいとされている。乳幼児を事前の面談なしに保育士資格のない人がみることが可能な仕組みとなっており、子どもの安全が保てるのか強く危惧されている。本市の見解と実施概要を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和６年６月１４日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	普久原 朝 日 (無 所 属) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 環境行政について	那覇市の粗大ごみの収集についての現状と課題を伺う
		2 交通行政について	(1) ゆいレールの利用状況の傾向について伺う（平日及び土日） (2) 那覇市における自転車の活用推進について
		3 性の多様性について	6 月はプライド月間であるが今年度那覇市での取組はあるのか伺う
		4 生活保護行政について	ケースワーカーの労働環境について伺う
		5 教育行政について	学校給食費の無償化について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和６年６月１４日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 災害対策について	那覇市が甚大な被害を受けた場合の対応について、具体的にシミュレーションはなされているのか伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 地域行政について	(1) 那覇市密集住宅市街地再生方針の改定に向けて、これまで改善が進まなかった点をどう認識し、対応していく想定なのか伺う (2) ポットホールと陥没は異なるのか伺う (3) 自治会集会所や児童館など、地域の集会所に那覇市がフリーWi-Fiを設置することで、子育て支援、高齢者支援、災害対策などにつながると考えるが、那覇市の取組を伺う
		3 福祉行政について	(1) 生活保護受給者の就労支援対象者の人数、何らかの就労を開始した人数、就労自立に至った人数を伺う (2) 那覇市において、いわゆる介護の対象となる高齢者の人数と、いわゆる育児の対象となる子どもの人数の割合はどうなっているのか伺う
		4 なはけいざいについて	(1) キャッチや路上販売など、禁止されているはずの行為が市内で再び多くみられるようになってしまっているが、条例改正などの対処をしないのか伺う (2) 新500円硬貨でさえ、使用できない不便が市内各所で発生しているが、これから新紙幣でのトラブルは、どの程度想定されるのか伺う (3) 泊大橋の西側に同様の大橋が建設されるが、完成予定と計画状況を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 神山まると高専では、「テクノロジー×デザインで人間の未来を変える」というコンセプトで、新しいアプローチを導入しているが、こういった取組を那覇市は積極的に取り入れる検討をしているのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長